

4～6月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R2～R6）の死亡事故データから見る ～

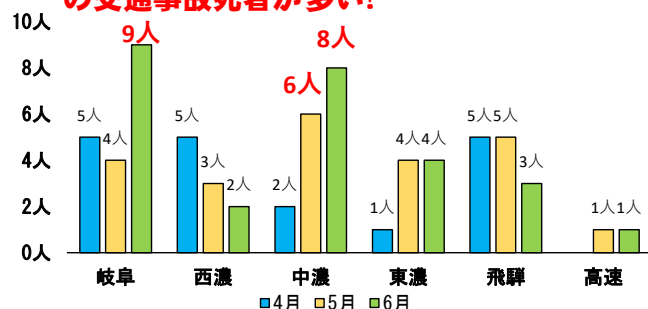
4～6月の死者数は、昼間の事故が6割以上を占め、同じく5月と6月は約8割を占めている。市町村道での事故は3か月とも多いほか、国道での事故も4月から6月にかけて増加している。カーブでの事故は4月から6月にかけて増加し、6月は年間で最多である。また、道路形状別では3か月とも単路での事故が多い。

《4月》死者18人 昼間の事故が約7割と多い。市町村道での事故、自動車乗車中における事故が多い。

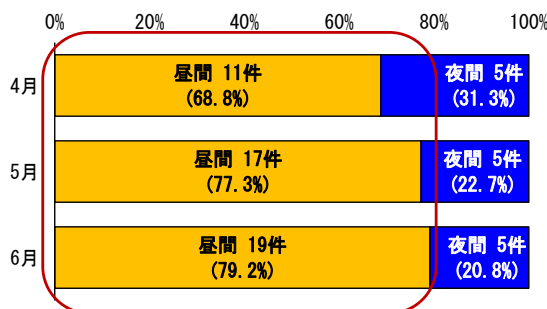
《5月》死者23人 昼間の事故が約8割と多い。時間帯では12時から16時にかけて集中し、市町村道での事故、単路での単独事故が多い。

《6月》死者27人 昼間の事故が約8割と多い。市町村道、国道における事故が多い。カーブでの正面衝突、単独事故が多い。

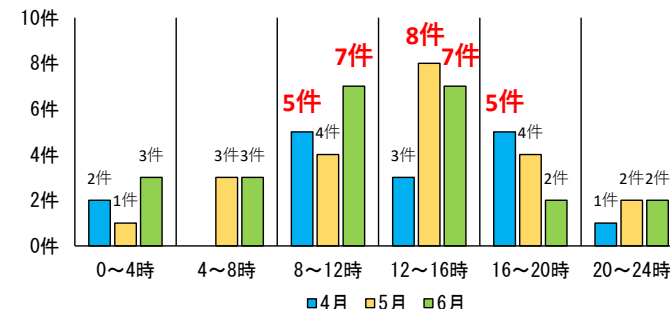
6月に岐阜ブロック、5・6月に中濃ブロックの交通事故死者が多い！



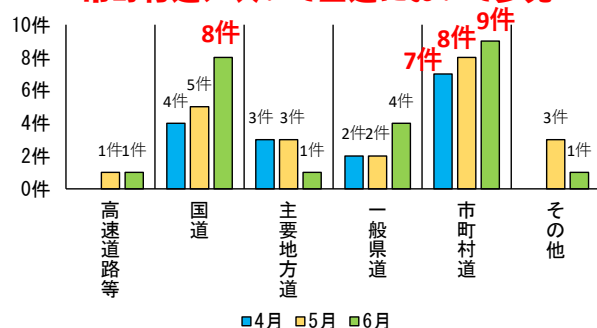
4月から6月にかけて昼間の事故に注意！



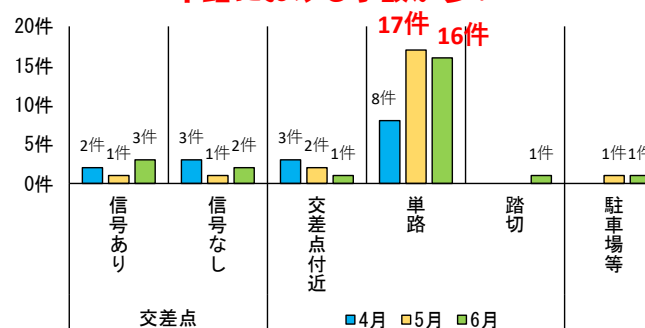
4月は8～12時、16～20時、5月は12時～16時、6月は8～16時に事故が多い！



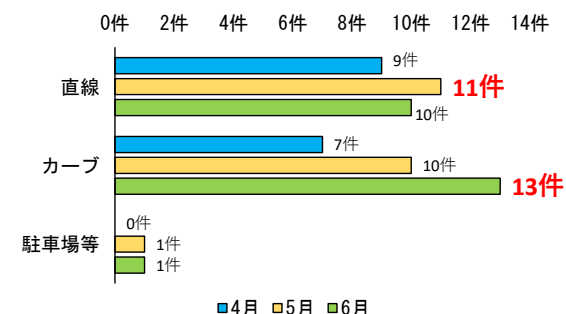
市町村道、次いで国道において多発！



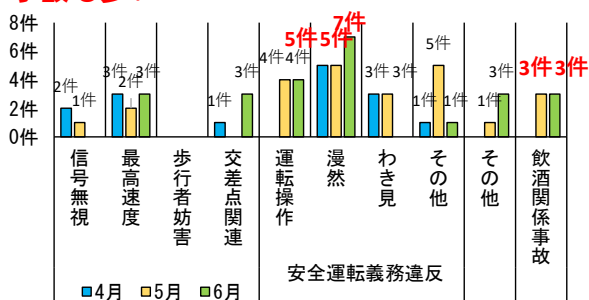
単路における事故が多い！



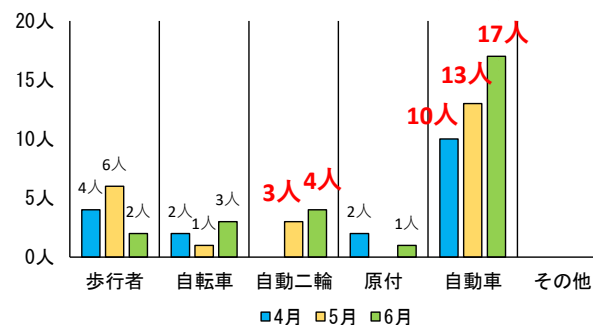
6月はカーブでの事故が最多！



漫然運転による事故が最も多く、飲酒関係事故も多い！



5月、6月は自動二輪の事故が多い！



車両単独事故、正面衝突事故が多い！

